

エジプト産柑橘類の需要は強いが供給は減少

[FreshPlaza](#) 2024年12月20日

青果物輸出業者であるエジプト・エミレーツ輸出入会社のライアン・エル・サウィ会長は、エジプト産柑橘類のシーズンは様々な様相を呈しつつ始まったとして、「その競争力のある価格と高い品質によりエジプト産柑橘類に対する世界的な需要は依然として堅調であるが、シーズン初期の課題としては不安定な天候条件があり、果実のサイズと収量にわずかな影響を与えた。しかし、初回の出荷に対する市場の反応は特にヨーロッパと中東で良好であり、今年の輸出シーズンも好調なことを示している」と述べた。(以下「」は同会長の発言)

同会長によると、エジプトの生産量の減少はかなり大きく、これは暑さと不規則な降雨を伴う気象条件によるものである。「弊社の出荷量は昨年に比べてやや少なく、柑橘類の生産量が19.5%減少するという全国的な傾向と一致している。生育期の重要な時期の熱波と不規則な降雨は、収量に影響を与えた。これらの課題にもかかわらず、ヌバリア地域とサダト地域にある弊社の農場では、灌漑施設と農業技術の改善により損失を軽減し、安定した品質を維持することができた。」

この輸出業者は柑橘類を主にヨーロッパとアジアに送っているが、同会長は物流コストの削減のため、アフリカ大陸の市場も探索したいと考えている。「弊社では主にドイツ、オランダ、英国等に輸出している。それらの国はエジプトの価格優位性と長い供給シーズンにより、主要な買い手となっている。もう一つの主要な輸出先は中東で、特にサウジアラビアとアラブ首長国連邦は、エジプト産オレンジの信頼できる市場であるロシアと並んで、エジプト産生鮮柑橘類の主要な市場である。弊社はアジアに進出したいと考えており、インド、中国、日本は生鮮柑橘類の需要が高まっている潜在的な市場である。さらに、物流コストが安いアフリカで、より身近なチャンスを模索し、市場拡大の新たな可能性を創出したいと考えている。」

エジプトは、スペイン及びトルコとの激しい競争に対処しなければならない。しかし、同会長は、これらの競争国との間にも協力の余地があると考えている。「スペインは、特にヨーロッパ市場において、その近さ、確立された評判、シーズン序盤の入手可能性により、依然として重要な競争相手である。しかし、エジプトの方が生育期間が長いことと、競争力のある価格が、特にシーズン後半の輸出において有利に働いている。また、エジプトとスペインの協力の余地もある。農法の研究と革新や物流の改善などの分野では相互の利益を強化できる可能性がある。」

供給量の減少と輸送コストの上昇が相まって、柑橘類の価格は2024年と比較して緩やかに上昇している。「高品質な柑橘類のプレミアム価格は、ヨーロッパと中東からの強い需要に支えられている。しかし、気候変動、物流の遅延、スペインやトルコとの競争などの課題は依然として深刻である。弊社は、効率的な輸出業務を確保するため物流プロバイダーとの関係を強化し、競争の激しい地域への依存を減らすために市場を多様化した。」

今後について、同会長は2025年シーズンの有望な結末を予想している。「出荷量の減少にもかかわらず、持続可能な成長と市場の拡大を見込み、引き続き品質と収益を重視していく。協力の機会は引き続き、効率を高め、市場を拡大するための鍵である。」

執筆者: ニック・ピーターズ

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)